



とびっくす TOPICS ~ in 海外 ~

2008.2.10 外二-003

国際業務室 内線3702.3715

011-233-1093

「今年の春節(旧正月)」

今年の春節は1月26日(正月)から始まりました。春節休暇は、25日の大晦日(除夕)から、31日(初六)までの7日間でした。ちなみに去年の春節は2月7日からで、来年の春節は2月14日からです。

ご存知のように旧暦の1月1日から春節が始まるため、元旦(正月)は毎年変わります。春節の間は、毎日のように打上げ花火があがり、爆竹が鳴り響きます。春節前から、花火即売所があちこちに設けられ、一般の人でも大きな打上げ花火を買うことができ、公園や道路、庭先で勝手に打上げ花火をあげることができます。

とくに大晦日(除夕)の夜は華やかで、「360度パノラマ花火大会」が繰り広げられます。その光景は言葉で伝えられないほど見事なものです。

しかしながら、今年は花火の売れ行きが芳しくなかったようです。米国発の世界同時不況はこんなところにも影響を及ぼしているのです…。

瀋陽事務所:正司 毅

「過年好!北京の春節は熱い!」

今年の春節、私は25日を北京で、26日以降を香港で過ごしました。この春節が中国では最も重要な節とされ、様々な催しがあり、皆競うように故郷へ帰るため期間中民族の大移動が行われます。

春節の中で最も激烈なのが「花火」です。

北京の町中の広場や各マンションの前では、日本の花火大会で使用されるようなクラスの花火を四六時中打ち続け、5,000発フルセット爆竹、100連続速射砲、また引越しに使用するような大きなダンボールに包まれたバリエーション対空砲とド派手なものに対し、香港は、パレードなどは警官がきっちりガードし、花火大会は指定された場所で日本の花火大会のように開催され、北京のような町中で繰り広げられるあの喧騒は一度としてなく、同じ中国でも全く異なることを実感しました。

北京事務所:坂口 秀之

「北海道展」

1月10日(土)より18日(日)まで上海第一八百半百貨店で「北海道展」が開催され、道内から約40社・100アイテムの商品が展示・販売されました。

会場の「八百半」はその昔、日本の「ヤオハン」が合併で進出、その後、本体は倒産し中国側へ引き継がれましたが、名前だけは今でも残っています。

この八百半百貨店、12月31日、一店舗・一日の売上が2.5億元(日本円35億円)と過去最高額を記録しました。景気減速が報道されていますが、個人消費の力はまだまだ底堅いものがあるようです。



北陸銀行 上海事務所:南 敏律